

平福百穂とアララギ歌人たち(大正15年2月11日)

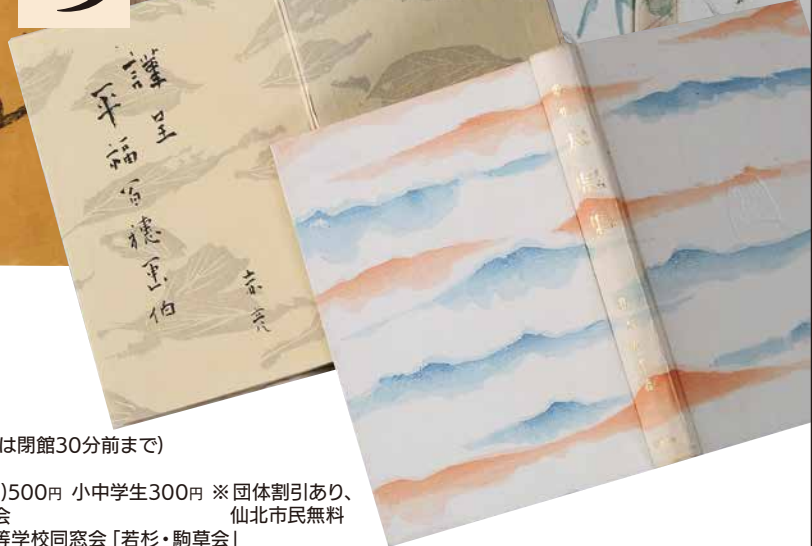


百穂と

アララギの歌人たち

明治から昭和にかけてアララギ派の代表的な歌人たちが角館や田沢湖を訪れ、多くの歌を詠んでいます。アララギの歌人たちと角館を結び付けた大きな要因が、角館出身の日本画家平福百穂の存在に他なりません。本展では、百穂が装丁した本を中心に写真や資料を展示します。

角館高等学校創立二〇〇周年記念



令和7年
9月5日金→11月9日日

新潮社記念文学館

〒014-0311 秋田県仙北市角館町田上丁23
TEL 0187(43)3333

開館時間: 9時~17時(入場は閉館30分前まで)

休館日: 毎週月曜日

観覧料: 大人(高校生以上)500円 小中学生300円 ※団体割引あり、

主催: 仙北市教育委員会 仙北市民無料

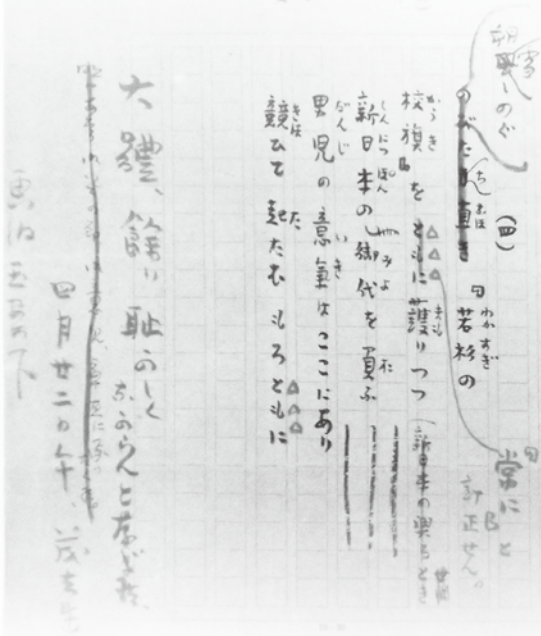
後援: 秋田県立角館高等学校同窓会「若杉・駒草会」

百穂とアララギの歌人たち

一九〇八（明治四十二）年、万葉への
帰郷と写生による短歌を提唱する根岸短
歌会の歌誌として「阿羅々木」が創刊
し、後に「アララギ」に改称。

角館出身の日本画家であり歌人の平福
百穂は、伊藤左千夫・島木赤彦・斎藤茂
吉・土屋文明らと共に、近代短歌の発展
に尽力しました。

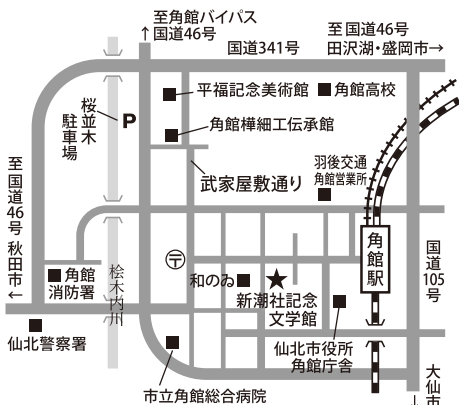
百穂の念願だった角館中学校設立の際
は、その校歌を島木赤彦に依頼しました
が志半ばで死去。その後を斎藤茂吉を中
心に中村憲吉・岡麓が調整して完成さ
せ、まさにアララギ歌人が総結集して作
り上げた名譽の校歌となりました。
現在も角館高等学校校歌「若杉」とし
て、歌い継がれています。



新潮社記念文学館

Shincho-sha Memorial Museum
of Literature

〒014-0311 秋田県仙北市角館町田町上丁23
Tel.0187-43-3333 ※仙北市学習資料館共通
www.city.semboku.akita.jp/sightseeing/bungakukan/



JR角館駅・秋田内陸縦貫鉄道角館駅から徒歩10分
駐車約30台

作 品 名
「阿羅々木」(第1巻第1号)
アララギ歌人集合写真
現代日本文学全集40 (伊藤左千夫)
歌「白植の・・・」(長塚節)
歌集「炭焼の娘」(長塚節)
歌集「土」(長塚節)
歌「葦の畝實を・・・」(土屋文明)
歌集「ふゆくさ」アララギ叢書第20編 (土屋文明)
結城哀草果短冊 (結城哀草果)
歌集「山麓」アララギ叢書第38編 (結城哀草果)
歌集「涌井」(岡麓)
歌集「朝雲」アララギ叢書第67編 (岡麓)
旧制角館中学校校歌稿 (レプリカ)
歌「母さんの里・・・」(島木赤彦)
赤彦童謡集 (島木赤彦)
歌集「氷魚」アララギ叢書第8編 (島木赤彦)
歌集「白き山」アララギ叢書第138編 (斎藤茂吉)
歌集「霜」アララギ叢書第150編 (斎藤茂吉)
赤彦遺言 (藤沢古実)
歌集「童馬漫語」アララギ叢書第7編 (斎藤茂吉)
歌「アララギ派歌人合作」(平福百穂・島木赤彦・中村憲吉・斎藤茂吉)
歌集「馬鈴薯の花」アララギ叢書第1編 (島木赤彦・中村憲吉)
歌集「林泉集」アララギ叢書第6編 (中村憲吉)
歌集「軽雷集」アララギ叢書第36編 (中村憲吉)
歌集「軽雷集以後」アララギ叢書第64編 (中村憲吉)
評伝 平福百穂 (加藤昭作)
平福百穂を愛した人々 (平福記念美術館)
長塚節歌集 アララギ叢書第9編 (長塚節)
歌集「庭苔」アララギ叢書第22編 (岡麓)
歌集「左千夫全集第1巻」アララギ叢書第11編 (伊藤左千夫)
歌集「寒竹」アララギ叢書第30編 (平福百穂)
歌集「竹窓小話」アララギ叢書第70編 (平福百穂)
歌集「柿蔭集」アララギ叢書第32編 (島木赤彦)
歌集「切火」アララギ叢書第4編 (島木赤彦)
歌集「太虚集」アララギ叢書第18編 (島木赤彦)
歌集「しがらみ」アララギ叢書第15編 (島木赤彦)
歌集「あらたま」アララギ叢書第10編 (斎藤茂吉)
歌集「赤光」アララギ叢書第2編 (斎藤茂吉)

展示資料にはお手をふれないようお願いします。
都合により展示資料を変更する場合があります。
写真撮影はご遠慮願います。